News Release

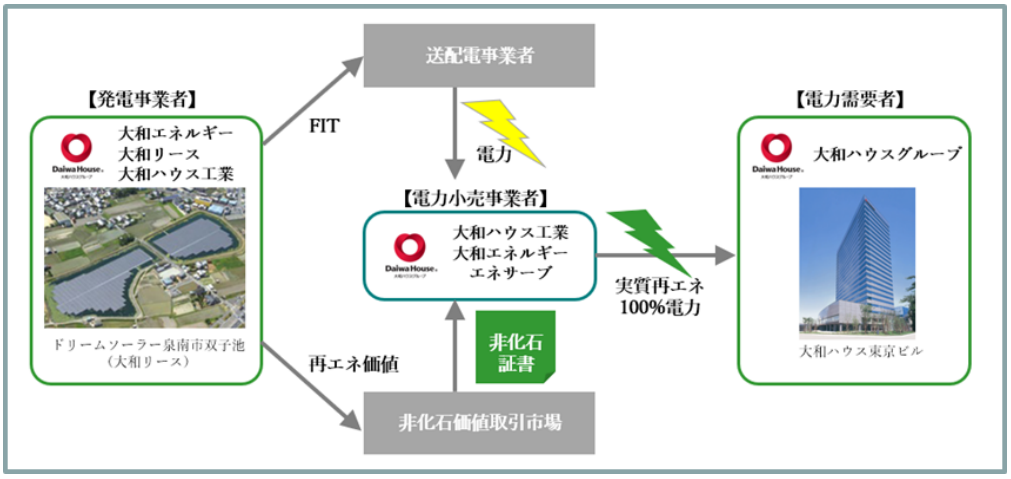
2020 年 4 月 1 日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長　芳井 敬一
大阪市北区梅田 3-3-5

再生可能エネルギー由来の電力を事業所および施工現場に本格導入開始

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、4 月 1 日より大和ハウス大阪ビル（本社ビル）・東京ビル（東京本社ビル）、総合技術研究所など全国の事務所・施工現場に再生可能エネルギー由来の電力の本格導入を開始します。



事業の枠組み

大和ハウスグループでは、2007 年より「風」「太陽」「水」の再生可能エネルギー資源の有効活用をテーマに、自社未利用地を活用した再生可能エネルギーによる発電事業を推進しています。2018 年 3 月には、国際イニシアティブ「RE100」※1 に加盟し、事業運営に要する電力を 100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げました。さらに、2019 年 10 月には、「施工」から「暮らし」まで実質再生可能エネルギー100%電力を供給するまちづくりを開始しました。

そしてこのたび、2040 年までに「RE100」を実現するため、大和ハウス大阪ビルや大和ハウス東京ビルをはじめとする全国の事務所・施工現場に再生可能エネルギー由来の電力を本格導入することとしました。

供給する電力は、当社グループが全国で管理・運営する 310 ヶ所、発電容量 約 329MW※2 の再生可能エネルギー発電所で発電された電力です。電力の再エネ価値を証書化した「トラッキング付非化石証書」※3 を取得することで、大和ハウスグループ内で再生可能エネルギーの発電から供給、利用までを完結し、“再生可能エネルギーによる自給自足”を実現します。

※1. 国際的な NPO 法人「クライメイトグループ」が運営。
※2. 2019 年 12 月末現在。発電量は大和ハウスグループの総電力使用量の 88%に相当。
※3. 固定価格買取制度（FIT）対象の再エネ電力の再エネ価値を証書化した非化石証書のなかでも、再エネ価値の由来となる再エネ電源が特定されているもの。

■今後について

大和ハウスグループでは、2020 年度中に全国の事務所 38 拠点と戸建・集合住宅、一般建築の施工現場に導入することで、再生可能エネルギー電力利用量は 34,700MWh（事務所等 28,000MWh、施工現場 6,700MWh）となり、当社グループにおける総電力使用量の約 7%に達する見込みです。2021 年度には 10%、2030 年度には 30%と段階的に引上げ、2040 年度には 100%を賄います。

今後、当社グループでは「脱炭素社会」の実現のため、自社施設での再生可能エネルギー電力の活用を推進するとともに、発電から販売、利用まで行うノウハウを活かし、環境経営を推進する企業への再生可能エネルギー電力の提案・普及を加速させます。

大和ハウス佐賀ビルの自家消費型太陽光発電

施工現場の看板

ECO FIRST エコ・ファースト企業 環境大臣認定 We Build ECO Daiwa House Group

私たちは、"未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい"との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112